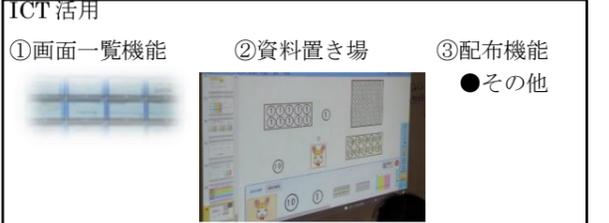
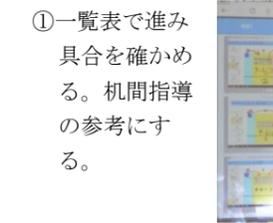
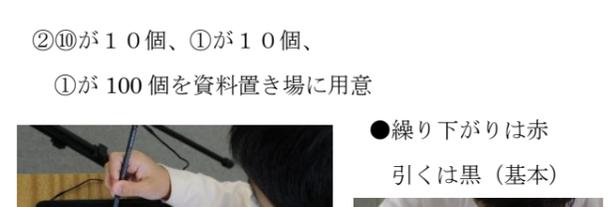
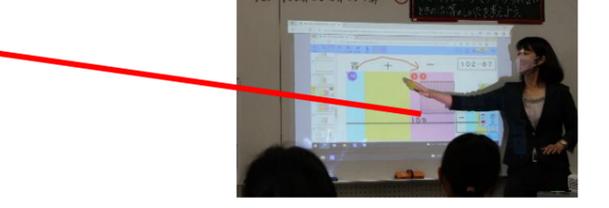
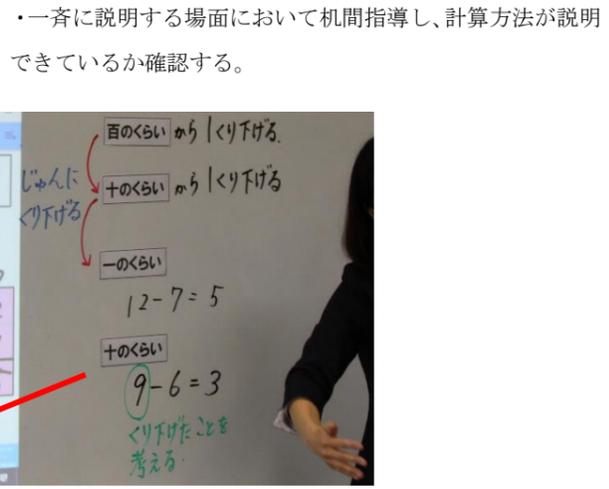


ICT を活用した授業の展開⑮

【2年生 算数「たし算とひき算のひっ算」】 ①は ICT 機器の活用場面

	学 習 内 容	○発問・対話を生み出す手立て	○ICT の活用												
つかむ	<p>1. 3位数-2位数の計算の仕方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3位数(百の位は1)-2位数の計算の仕方を振り返る。 ひけないときは一つ上の位から繰り下げて計算する。 <p>2. 学習問題をつかむ。</p> <p>102-67 のひっ算のしかたを考えましょう。</p>	<p>○一の位も十の位も引けない計算の仕方をしましたね。一の位が引けないときどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 十の位から一繰り下がるとおもいます。 <p>○どんなことに気をつけて筆算を書きましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 位をそろえて書くことに気がつきました。 <p>①前時の復習をする。 ①102-67 の筆算を一覧表で確かめる。</p>	<p>ICT 活用</p> <p>①画面一覧機能 ②資料置き場 ③配布機能 ●その他</p> 												
とらえる	<p>筆算を書いてみることで、十の位から繰り下げることができないと気付く。</p> <p>3. 課題を設定する。</p> <p>十の位から繰り下げられないときの計算のしかたを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> まず、位の部屋に数玉を置く。 <p>4. 個人で追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 位の部屋で考える 	<p>○今まで学習した筆算と何が違うのでしょうか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の問題は十の位が0なので一の位が計算しにくい。十の位から1繰り下げられない。 <p>【個人追究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 百の位から一の位に一度に繰り下がりをした児童(4名) うまく計算できないことを実感。 図で求めることができた児童 → 筆算と位の部屋を結び付けて説明する。 <p>【全体交流】</p> <p>○どんな風に計算をしたかお話ししましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> まず、一の位を計算します。2-7はできないので、百の位から1繰り下げます。12-7は5です。次に十の位を計算します。9-6は3です。だから、答えは35です。 百の位から十の位へ1繰り下げます。すると、十の位は⑩が10個になります。 一の位に10玉が一ついって十の位の残りは9です。 <p>○十の位が0でダメだから、どうしたの?</p> <ul style="list-style-type: none"> 百の位から十の位に繰り下げて、で、また一の位に繰り下げて。だから2回繰り下げる。 	<p>②個人追及する。(資料置き場の活用)</p>  <p>①一覧表で進み具合を確認。机間指導の参考にする。</p>  <p>②⑩が10個、①が10個、①が100個を資料置き場に用意</p>												
深める	<table border="1" data-bbox="262 1083 661 1291"> <tr> <td>百</td> <td>十</td> <td>一</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※資料置き場から必要な数玉を取り出す。置線機能で数玉をきれいに並べる。</p>	百	十	一	10	0	2	-	6	7		3	5	<p>○もう一度一緒に考えてみるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2-7はできないので、十の位を見て、十の位が0で引けないから、百の位から十の位に1繰り下げます。百の球は十玉10個に変身します。さらに一の位に1繰り下げます。十玉は一玉が10個に変身します。一の位を計算します。12-7=5です。次に十の位を計算します。9-6=3です。 	<p>●繰り下がりとは引くは黒(基本)</p>  <p>●百の位から一の位に一遍に繰り下がる児童がいた場合を想定。その図を用意(当日は、取り組んだ子のノートを使う。)</p> 
百	十	一													
10	0	2													
-	6	7													
	3	5													
まとめる	<p>5. 全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (位の部屋) 百の位から十の位に1くり下げる。一の位はまだ計算できないので、十の位から一の位に1くり下げる。すると、一の位は12。7ひくことができる。十の位は9-6になる。 <p>百の位から1くり下げる。十の位の10から1くり下げる。すると、一の位は12-7。十の位は9-6。答えは35になる。</p>	<p>○矢印を百の位から一の位にもってきた人はいなかったかな?</p> <p>○ここに1玉が何個に変身したかという?</p> <ul style="list-style-type: none"> 100個だから、102-7になる。簡単には計算できない。 	<p>●配布機能で、位の部屋の図が完成していない児童に教師が作成した図を配布する。</p> <p>●一斉に説明する場面において机間指導し、計算方法が説明できているか確認する。</p> 												
	<p>6. 深めの働きかけをする。</p> <p>十の位が9-6になっているけれど、10-6じゃないの?</p> <ul style="list-style-type: none"> 百の位から1繰り下げると⑩が10個なる。さらに、十の位から一の位に1繰り下げたから、⑩は9個になる。 十の位が9になるのは、一の位に1くり下げたからだ。だから9-6になる。 <p>《位の部屋の図を基にして、十の位が空位で繰り下げることができない場合の筆算の仕方を全体で考える》</p>	<p>★なんで「9」なの? 十の位は「10-6」だったじゃない?</p> <ul style="list-style-type: none"> だって、一の位に1繰り下げたから十の位は9-6になります。 <p>○一の位に繰り下げたことを考えないといけないね。</p> <p>○位の部屋でしたことを筆算でしてみましょう。</p> <table border="1" data-bbox="1249 2181 1417 2329"> <tr> <td>百</td> <td>十</td> <td>一</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </table>	百	十	一	10	0	2	-	6	7		3	5	<p>③図が完成していない児童に教師が作成した図を配布する。</p> 
百	十	一													
10	0	2													
-	6	7													
	3	5													
	<p>7. まとめる</p> <p>十の位からくり下げられないときは、百の位から、順にくり下げて計算するとよい。</p> <p>8. 一斉に、本時学んだ計算の仕方を説明する。</p>	<p>○では、今から自分の位の表を見ながら、声に出しながら、筆算の説明をしてください。位の表が完成していない人は、配布します。始めてください。</p> 													